

# コレクション展 スケールス

## Collection Exhibition: Scales

### 2020年10月17日(土)―2021年5月9日(日)

※前期:2020年10月17日(土)―2021年1月31日(日)、後期:2021年2月2日(火)―5月9日(日)

開場時間:10:00~18:00(金・土曜日は20:00)

主催:金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]

ある物や空間について、思っていたより大きい、思っていたより小さい、と感ずることがあります。それはなぜでしょうか。

大きさを表す言葉として、「サイズ」と「スケール」があります。「サイズ」は、cmなどの数値で示せる、対象自体の属性です。

それに対し「スケール」は、規模、縮尺、尺度といった意味を持つ言葉で、相対的な大きさや、計測する基準を示します。例え

ば地図は、大きすぎて捉えがたい現実空間を、地域という範囲に区切った上で縮小し、その枠内での情報量を調整することによ

り、私たちが把握しやすいスケール(=規模)に調整したものです。一方、1分の1スケール=ライフサイズの実空間を見るとき

でも、私たちは、遠ざかって全体を見たり、中を歩き回ったり、あるいは自分が過去に行ったことのある場所と比べるとというよう

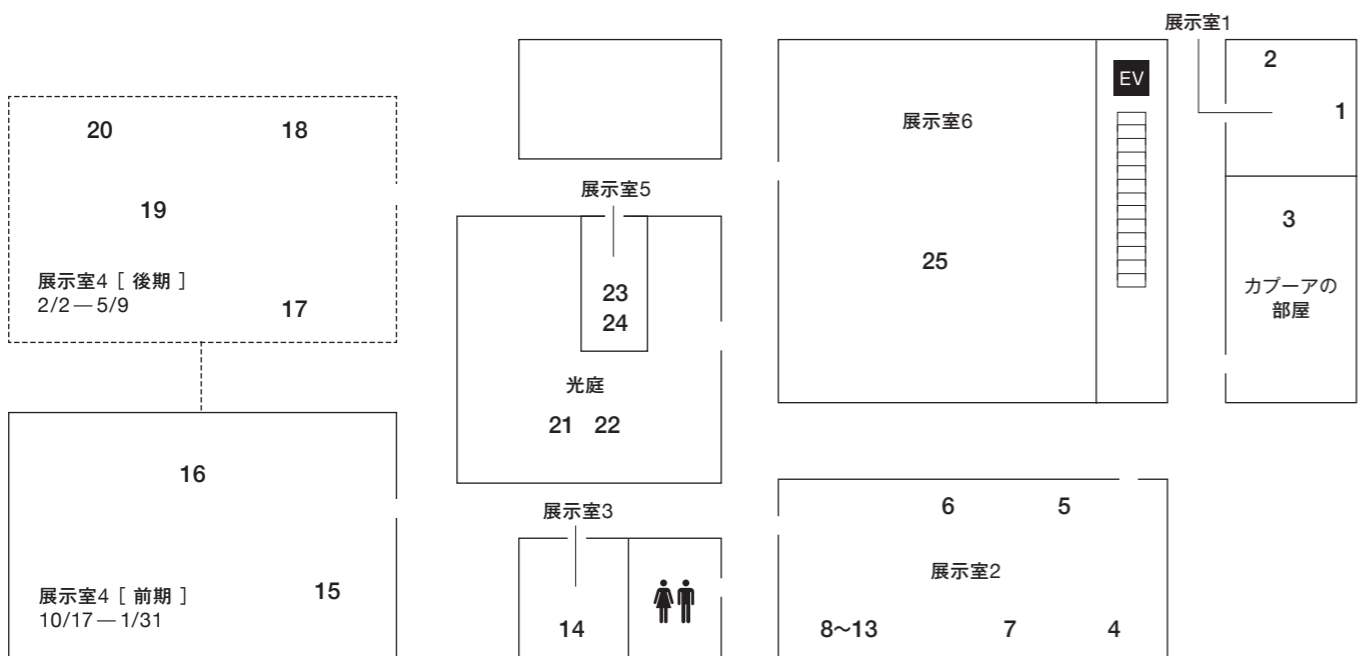
に、視界の範囲と焦点を移動させることによって、異なる情報を得ています。思っていたより大きい／小さいと感ずるとき、それ

は、尺度を持つ私たちの身体と、外の世界との関係性の中で「スケール」が伸縮するときに生まれる経験と言えます。

本展覧会では、それぞれプロポーシヨンの異なる7つの展示室で、当館所蔵作家による作品をご紹介します。風景、空虚、音の

響き、人の記憶、植物や無機物の持つ時間の流れ…作品が扱う世界は計測しがたく、尺度を切り替えるたびに別の姿をあらわす

でしょう。身体の中で絶えず構築される複数のスケールについて、考える機会となれば幸いです。



#### 展示室1

1  
宮崎豊治  
《眼下の庭》  
1993  
鉄、真鍮  
H153×W165×D173cm

2  
宮崎豊治  
《眼下の庭―素描―》  
2018-2020  
ボールペン、カラーペン、  
色鉛筆、鉛筆／方眼紙  
各H21×W29.7cm  
作家蔵

――

#### カプーアの部屋

3  
アニッシュ・カプーア  
《L'Origine du monde》  
2004  
φ700cm

――

#### 展示室2

4  
アニッシュ・カプーア  
《白い闇 IX》  
2002  
木、ファイバーガラス、顔料  
H183×W183×D57.5cm

5  
ギジェルモ・クイッカ  
《ノイフェルト組曲  
(発電機と発電装置)》  
1999  
油彩、色鉛筆／リネン  
H195.6×W195.6cm

6  
ギジェルモ・クイッカ  
《ノイフェルト組曲(ギャンブル・  
テーブルとスロットマシン)》  
1999  
油彩、色鉛筆／リネン  
H195.6×W195.6cm

7  
ギジェルモ・クイッカ  
《百科全書(パリのヴァル・ド・  
グラス教会の大理石の床の図面)》  
1999  
ミクスト・メディア／リネン  
H197.2×W159.6cm

#### 8

イザ・ゲンツケン  
《ベルリンのための新建築3》  
2001  
ガラス、粘着テープ、シリコン  
H80×W20×D16cm

#### 9

イザ・ゲンツケン  
《ベルリンのための新建築4》  
2001  
ガラス、粘着テープ、シリコン  
H80×W20×D15cm

#### 10

イザ・ゲンツケン  
《ベルリンのための新建築5》  
2001  
ガラス、粘着テープ、シリコン  
H80×W19×D17cm

#### 11

イザ・ゲンツケン  
《ベルリンのための新建築6》  
2001  
ガラス、粘着テープ、シリコン  
H80×W23×D17cm

#### 12

イザ・ゲンツケン  
《ベルリンのための新建築7》  
2001  
ガラス、粘着テープ、シリコン  
H80×W25×D17cm

#### 13

イザ・ゲンツケン  
《ベルリンのための新建築8》  
2001  
ガラス、粘着テープ、シリコン  
H80×W22×D14cm

――

#### 展示室3

#### 14

フィオナ・タン  
《リンネの花時計》  
1998  
ビデオ  
17分

――

#### 展示室4

[ 後期 ]

#### 15

田中信行  
《Inner side - Outer side》  
2005  
漆、麻布(乾漆)  
H220×W158×D85cm

#### 16

福本潮子  
《霞の幔幕》  
2002  
藍染、麻、レーヨン紐  
H200×W1000cm、  
H200×W1100cm

[ 後期 ]

#### 17

ギジェルモ・クイッカ  
《百科全書》  
2001  
ミクスト・メディア／紙  
各H27.9×W21.6cm

#### 18

ヴラディミール・ズビニオヴスキー  
《石の精神》  
2001  
光学ガラス、石  
H27×W45×D24cm

#### 19

ツェ・スーメイ  
《エコー》  
2003  
ビデオ・プロジェクション、音  
4分54秒ループ

#### 20

ツェ・スーメイ  
《ヤドリギ楽譜》  
2006  
ビデオ・プロジェクション、音  
6分49秒ループ

――

#### 光庭

#### 21

ペーター・フィッシュリ  
ダヴィッド・ヴァイス  
《無題(コンクリート・ランドスケープ)》  
2010  
コンクリート、石、台  
約H12×W100×D200 cm

#### 22

ペーター・フィッシュリ  
ダヴィッド・ヴァイス  
《クリン クロン》  
2010  
サウンド

――

#### 展示室5

#### 23

チェン・ウェイ  
《道端のマレーヴィチ》  
2016  
LEDスクリーン、スチール  
H16×W202×D16cm

#### 24

チェン・ウェイ  
《前代未聞の自由》  
2016  
LEDスクリーン、チタンステンレス  
H214×W8.4×D7.8cm

――

#### 展示室6

#### 25

ス・ドホ  
《階段》  
2003  
透明ナイロン  
サイズ可変